

法令 No.6 行為基準

第 50 回 (2005 年)

問 26 保管の基準に関する次の記述のうち、放射線障害防止法上正しいものの組合せはどれか。

- A 密封されていない放射性同位元素は、容器に入れ、かつ、貯蔵室又は貯蔵箱で保管しなければならない。
- B 密封された放射性同位元素を耐火性の構造の容器に入れて保管する場合には、その容器をみだりに持ち運ぶことができないような措置を講じなければならない。
- C 空気を汚染するおそれのある放射性同位元素を保管する場合には、貯蔵施設内の人が呼吸する空気中の放射性同位元素の濃度を、空气中濃度限度を超えないようにしなければならない。
- D 固体状の放射性同位元素を、き裂、破損等の事故の生ずるおそれのある容器に入れて保管する場合には、受皿、吸収材その他の施設又は器具を用いることにより、放射性同位元素による汚染の広がりを防止しなければならない。

1 ABC のみ 2 ABD のみ 3 ACD のみ 4 BCD のみ ⑤ ABCD すべて

問 27 工場又は事業所の外における放射性輸送物の運搬に関する次の記述のうち、放射線障害防止法上正しいものの組合せはどれか。

- A A 型輸送物は、文部科学大臣の承認を受けた場合以外は、表面における 1 センチメートル線量当量率が 2 ミリシーベルト毎時を超えないこと。
- B BM 型輸送物は、運搬する旨を都道府県公安委員会に申請し、許可を受けなければならない。
- C L 型輸送物は、その表面における 1 センチメートル線量当量率が 5 マイクロシーベルト毎時を超えないこと。
- D L 型輸送物は、運搬中に予想される温度及び内圧の変化、振動等により、き裂、破損等の生じるおそれがないこと。

① ACD のみ 2 AB のみ 3 BC のみ 4 D のみ 5 ABCD すべて